

# 樹神義和



発行元：樹神義和事務所

〒473-0935 豊田市大島町前畑1-1

TEL：0565-52-7876 FAX：0565-52-7928

URL：http://www.kotama.net/

誰もが魅力を実感できる“愛知”を目指して!!

## 新型コロナウイルスの脅威を乗り越え 新たな時代に相応しい社会の実現へ!!

新型コロナウイルス感染症が流行しはじめて間もなく2年が経過しようとしています。8月下旬には1日あたりの県内新規感染者数が2千人を超え、現在はピーク時と比較すれば大幅に減少しているものの、新たに第6波の感染拡大も懸念されております。

また、コロナ禍において皆様の生活は大きく変化したと思いますが、新型コロナウイルスの封じ込めができたとしても、全てが感染拡大前に戻るとはとても思えません。従って、この難局を乗り越えた新たな時代に相応しい社会を目指して取り組んでまいりますので、引き続きのご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。



愛知県政トピックス

### 「ニューあいちスタンダード(通称:あいスタ)」 認証制度が創設されました。

愛知県は飲食店における新型コロナウイルスの感染対策の徹底強化を図るため、**飲食店を県が認証する制度「ニューあいちスタンダード(通称:あいスタ)」**を新たに創設しました。

この制度は**県内施設の感染防止対策の水準を高め、利用者が安全・安心に過ごしていただくため**、感染症専門家の監修のもと**定められた対策の実施状況を第三者(愛知県)が認証**することで、**感染防止対策の促進を図っていくことを目的**としたものです。

なお、**認証された店舗には公認ステッカーが交付され、且つ、専用ウェブサイトにて公表**されておりますので、**お店選びの際は是非参考にしてください。**



公認ステッカーには、基本項目(42項目)の他、感染防止対策の強化をアピールできるプラス項目(8項目)を満たした数に応じて、最大3つの星(プラス星)が付与されています。

#### 飲食店感染防止対策50項目

##### 基本項目 (42項目)

- 1 利用者への周知事項 (全8項目)
- 2 店舗環境・接客サービス (全5項目)
- 3 店舗・設備の衛生管理 (全6項目)
- 4 感染防止対策責任者の遵守事項 (全13項目)
- 5 条件付き事項 (全10項目)

&

##### プラス項目 (8項目)

項目	内容
非接触	● 接触感染リスクを低減するための、自動扉や自動水栓の導入など更なる対策を実施する ● 利用者が外したマスクを、直接テーブルに置かないようにマスクケース等を提供する ● 会計処理にあたる場合は、電子マネー等の非接触型決済を導入する
3項目以上満たせば、星1つ付与されます	● 消毒対策を行う際は、消毒薬の使用量、有効成分、濃度及び使用期限を確認し、目的にあった消毒方法を選択する ● テイクアウト・デリバリーの飲食を推奨する
換気	● 換気を徹底するにあたり、CO2センサーの使用等により、CO2濃度1000ppm以下となるよう換気状況を把握し、記録表等で管理する。CO2濃度が1000ppmを超える場合は、換気状況を改善する
1項目満たせば、星1つ付与されます	
従業員	● 感染防止対策責任者は、感染リスクの早期把握のため、従業員に対し、国が提供する新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)の利用を周知する ● 感染防止対策責任者は、あいスタ認証事務局が発行する従業員健康管理マニュアルの運用を行い、従業員の健康管理を徹底する
2項目全て満たせば、星1つ付与されます	

注：全ての基本項目に取り組むことが認証の条件となります。

# 令和3年8月臨時議会&9月定例議会 オール愛知一丸となって、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻す

## 議案

8月に2回の臨時議会と9月17日～10月12日までの会期で9月定例議会が開催され、新型コロナウイルス対策を含む「一般会計補正予算案」を中心に審議し、全ての議案を可決承認しました。なお、令和2年度決算関連は特別委員会を設置し継続審議となりました。

## 主な議案① 新型コロナウイルス感染症緊急対策(予算)について

新型コロナウイルス感染症の克服に向けて、引き続きオール愛知で一丸となって取り組みを進めるため、愛知県感染防止対策協力金や愛知県中小企業者等応援金、さらには生活福祉資金貸付事業費補助金など、切れ目なく対策が行えるよう令和3年度に入って総額6,830億円(内、8月臨時議会&9月定例議会では2,043億円)を可決しました。

なお、感染の急増や経済の急変に対応し、臨時・緊急に実施すべき対策については、状況に応じて今後も機動的に対応してまいります。

### 補正予算の3つの柱

#### 1 感染拡大防止や医療面での対策

感染拡大防止に向けた施策や医療提供体制の更なる強化のための取り組みを実施

- 愛知県感染防止対策協力金
- 飲食店等感染防止対策促進事業費
- ワクチン接種支援事業費 等



#### 2 県民生活への対策

県民生活への影響を最小限に抑えるため、様々な側面から対策を実施

- 生活福祉資金貸付事業費補助金
- 相談窓口設置事業費
- 県立学校教育活動継続事業費 等



#### 3 経済対策

企業等の経済活動への影響を最小限に抑えるとともに、経済活動の回復や強靱な経済構造の構築に対する支援策を展開

- 愛知県中小企業者等応援金
- 指定管理者支援金費 等



(参考) 新型コロナウイルス感染症対策予算額

		予算額
令和元年度		20億円
令和2年度		4,519億円
令和3年度	当初予算	1,311億円
	補正予算(4月～7月)	3,476億円
	8月補正①	689億円
	8月補正②	459億円
	9月補正①	485億円
	9月補正②	326億円
合計		1兆1,370億円

## 主な議案② 「愛知県木材利用促進条例」の制定について



県産木材をはじめとする木材の利用は、本県のモノづくりの原点であるものの、戦後に植栽され本格的な利用期を迎えている県内の人工林は、その利用が十分とは言えない状況であり、また、木材価格の低迷、担い手不足等により、林業及び木材産業を取り巻く環境は厳しい状況に置かれています。

こうした状況を踏まえ、自由民主党愛知県議員団から木材利用に関する条例制定の提案があり、私もメンバーの一人となった超党派による「政策条例策定検討会」が議会内に設置され議論を行い、最終的には議員提案条例として9月定例議会に上程し、全会一致をもって可決しました。

### 条例の特色

- 県内の林業及び木材産業の自立的発展が図られること等の基本理念を規定
- 県が木材利用の促進に関する施策を総合的かつ計画的に策定し、実施する責務を有すること等を規定するとともに、市町村や関係事業者、県民の役割をそれぞれ規定
- 木材の利用促進に関する基本計画を定め、木材の利用の促進に関する基本的な事項や目標等を定めることを規定
- 木材の供給に係る施策、建築物等に対する木材利用に関する施策、木材の有効利用の促進等の基本的施策を規定



## 代表質問

9月定例議会では自由民主党・新政あいち・公明党の3会派が代表質問を行い、新政あいち県議団からは幹事長の森井元志議員(名古屋市守山区選出・4期)が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ直面する県政諸課題について質問を行いました。

## 主な質問 コロナ禍における医療提供体制の確保について

### Q 新型コロナウイルス感染症への対応のみならず、通常の病気に罹った際も安心して医療機関で受診できるよう、県としてどのように取り組んでいくのか?

**大村知事** 新規感染者数が8月27日には過去最多の2,339人を記録するなど、これまでにない規模となり、新型コロナウイルス感染症患者の最大限の受入れと、医師が延期可能と判断した入院・手術の一時延期を依頼した。

**答 弁** なお、通常医療との両立も大変重要であるので、救急や悪性腫瘍など時間の猶予がない疾患対応は継続していただけるよう併せて依頼している。

これにより、9月10日には入院病床は1,722床+α、うち重症者用病床183床+αを確保し、また、軽症・無症状の方が安心して療養出来るよう、宿泊療養施設についても新たに3施設519室を確保し、合計で6施設1,628室となった。

今後も、新型コロナウイルス感染症の医療提供と通常医療の両立にしっかりと取り組み、県民の皆様の生命と健康を全力で守っていく。



答弁する大村知事

## 委員会

9月定例議会では所属委員会である建設委員会に一般会計補正予算含め6件の議案が付託され、私は一般会計補正予算のうち、「矢作川カーボンニュートラルプロジェクト検討調査費」について質問を行いました。

### 矢作川カーボンニュートラルプロジェクトとは?

- 矢作川流域をモデルケースとし、「水循環」をキーワードに、再生可能エネルギー等の導入による国土強靱化をはじめ、森林保全・治水・水道からエネルギーまでを含め、官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を目指す。
- 既存のシステムやしきたりととらわれず、流域マネジメント、エネルギーマネジメントを重視して、AIやIoTといった最新鋭の技術を駆使し、二酸化炭素削減、省エネルギーそしてSDGs達成につながる取り組みを進めていく。



## 主な質問 矢作川カーボンニュートラルプロジェクトの選定理由について

### Q 愛知県に対し、カーボンニュートラルの実現に向けて企業・団体から7件の提案があったが、その内の「矢作川カーボンニュートラルプロジェクト」のみが選定された理由は?

**建設局** 矢作川流域は上流には多数のダムが建設され、循環型林業に取り組むなど森林整備も盛んであり、また、自動車産業を始めとした産業が集積し、上水道や工業用水道による水利用、更には古くから明治用水による農業用水としての水利用も行われている。

**答 弁** このように、矢作川流域には多くの検討分野が揃っており、スケール感のあるポテンシャルの高い提案であったことから、全国初のモデルケースとなることが期待できるなどと高く評価され、事業化すべきプロジェクトとして選定した。

本プロジェクトは今年度内に概略検討調査を実施し、来年度以降は県関係部局・有識者及び国の関係省庁からなる研究会を設立し、官民連携で総合的かつ分野横断的にプロジェクトに取り組んでいく予定なので、今後の活動を注視してまいります。



樹神委員

7月8日

## 豊田市内の幹線道路&河川整備の要望会に出席



豊田市の太田市長・豊田市議会の太田議長・豊田商工会議所の三宅会頭をはじめ、市内代表者の皆様が県庁にお越しになられ、県に対し**国道301号松平バイパス**や**国道419号の四郷拡幅**、**更には逢妻男川・女川の治水対策などについて要望**を行われましたので、地元選出議員の一人として同席しました。

**新型コロナウイルスの影響等により、県財政は非常に厳しい状況下**ではありますが、**安心安全で活力ある地域づくり**に向けて引き続き県に働きかけてまいります。

7月14日

## コロナ禍における中部国際空港の利用状況を視察

本年6月に設立され、事務局長を拝命しております「新政あいち県議団 観光・地域振興政策推進議員連盟」の初の現地調査として、**空の玄関口である中部国際空港の利用実態調査**に行っていました。

**新型コロナウイルス感染症の影響により殆どの便が欠航**となっており、**観光業界の厳しさを改めて認識**する事が出来ましたが、ポストコロナ・アフターコロナに向かって、**観光・地域振興が促進**されるよう引き続き多くの皆様からご意見を頂いています。



8月24日

## 「プレ・ステーションAi」を視察



愛知県ではスタートアップ企業の創出・育成・展開を図るため、**拠点施設となる「ステーションAi(2024年供用予定)」の整備を進めています**が、施設完成までの間も**切れ目のない支援を行うため「プレ・ステーションAi」を開設**しており、嶋口議員(安城市)・安井議員(名古屋市港区)と共に現在の活動状況等を調査していました。

海外と比較し、**我が国のスタートアップ企業の創出・育成・展開体制は非常に脆弱**であることから、**両施設を核として、本県が引き続き我が国をリードする産業立県となる事を期待**しております。

9月3日

## 鶴舞周辺における自動運転実証実験バスに試乗

愛知県では全国に先駆けて**2016年度から自動運転の実証実験**を積み重ね、自動運転によるビジネスモデルの構築を進めてきましたが、**今年度は中部国際空港島&愛・地球博記念公園&名古屋市鶴舞周辺の3地域で実証実験**を行う事としており、その内の**鶴舞周辺における実証実験バスに試乗**しました。

今回は都心における幹線道路を利用した約3ヶ月という長期間での走行であり、**これだけの規模での実証実験は日本初**との事ですが、これらの実証実験を通じて早期に自動運転が普及する事を期待しております。



『**こたま 義和**』に対するご意見・ご要望をお待ちしております。  
また、ホームページにて日頃の活動内容をタイムリーにご紹介させていただきます。是非一度アクセスしてください。

こたま 豊田市

検索

<http://www.kotama.net/>



Facebookでは更に詳細な活動報告をさせていただきますので、是非フォローをお願いします。

